

第2回 府中市総合計画市民検討協議会開催結果（要旨）

- 1 開催日時 平成24年2月4日（土）午前9時30分～正午
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎3階第1～3会議室
- 3 出席委員 55名（公募市民33名、公募職員22名）
欠席委員10名
- 4 出席職員等
吉野政策総務部次長、古森政策課主幹、堤原政策課主査、吉川政策課理事、
河野政策課主任、パシフィックコンサルタンツ株（斎藤氏、山口氏）
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事日程

議事日程に入る前に、第2回目以降の協議会の進行については、最初に事務局からの説明を行い、以後各分野別に協議していただき、全体会議は必要に応じて開催したいとの説明を行い、了承された。

次に、本日の傍聴の申出はない旨の報告を行った。また、本日の委員の出欠状況について、委員65名のうち55名の出席があるため会議は有効に成立している。なお、職員の染谷委員が、本年4月から東日本大震災の被災地支援を行うこととなったため、土木課の曾田委員と交代する旨の報告を行った。（別紙委員名簿参照）

また、前回欠席であった委員3名が自己紹介を行った。

続いて、事務局より配付資料（資料1～9、別紙、参考）の確認、説明を行った。資料5の「現計画の総括」は現在作成中であるため後日配付を行いたい。また、参考資料として平成18年12月に提出された第5次府中市総合計画課題別検討協議会提言書の写し（部会別）を各部会毎に配付した。

（1）第1回議事録の確認

平成23年12月10日開催の第1回市民検討協議会議事録の確認について、資料2及び3に基づき説明。資料2は、市民検討協議会の第1回目の開催結果の要旨、資料3は、各部会で検討された報告書として、事務局に提出されたもので、いずれも、事前に委員に確認後、加除修正の連絡がなかったため、資料のとおり開催結果の要旨及び各部会の報告書として、市ホームページ、中央図書館、情報公開室等で公開とすることについて了承された。

（2）本日の協議内容の概要説明

本日の協議内容の概要説明等について、コンサルタントより、資料1に基づき説明を行った。

（3）部会別会議

①基本構想の見直しの論点検討（まちづくりの主な課題、土地利用）

なお、②基本施策別のめざすまちの姿・課題・役割分担の検討については、

次回以降の会議にて検討することとした。

各部会の主な発表内容は次のとおり。

○健康・福祉部会

前回のまとめについて追加意見があり、「歴史あるまちづくり」は重視していきたい。「人間性の尊重」という言葉は難しいので、相手の立場に立って触れ合うなどの表現に変えると良いとの意見があった。

まちづくりの主な課題では、少子化・高齢化が一括りとなっているが、別の課題とし解決したほうが良い。全体的な表記が分かりにくい。子育てに対する重圧感や負担感はあまり感じない、かえってマイナスイメージが強い。子育てしやすい環境の整備が少子化対策には必要ではないかなどの意見があった。高齢化問題については、高齢者の働き場の充実や生活での幸福の持続が図られると良いなどの意見があった。

自由テーマとしては、「コミュニティにおける参加と支えあい」を選択したが、その中で地域とはどこを指すのかが明確でない。コミュニティについては、関心がない人が増えているので、PRや情報提供が不足しているなどの意見があった。

「土地利用」では、新たな項目として災害時の土地利用について盛り込んでほしい。住環境ではマンションが増えたので歴史的景観が壊れてしまう、自然が減っていくなどの課題も考慮すべきである。工業の土地利用がないので入れる。人が集まる魅力あるまちの記載を強化するなどの意見があった。

○生活・環境部会

前回のまとめでは、「市民と行政が協働してつくれる府中市」、「市民一人ひとりの個性、個人を育てられる都市像」というものを出したが、言い方を強調した方が良いとの意見があり、「市民が参画し、行政と共同する府中市」、「市民一人ひとりの個性を生かしたまちづくり」に変更していきたい。

環境問題では、ごみの問題については、市民、生産者、行政それぞれで、取り組むことが分かると考えるが、目指すところはごみの廃棄量がゼロになることである。ごみを出さないこと、必要最低限にすることが必要だが、結果が分かりづらいのではないか。減量の状況が分かるような数字があった方が良い。生産者の責任の徹底や、分別が難しいので生産者、メーカー等で容器の統一化をした方が良いなどの意見があった。

また、自由テーマとしては、「地域の高度情報化の推進」を選択したが、デジタル化等情報化が進んでいるが、高度情報化に依存しない仕組みが必要である。人とのつながりや心の通じ合いが重要であり、高度情報化だけでは、コミュニケーションには至らないのではないか。また、FM電波の情報発信などの取組を行い、災害情報などを発信していくことが必要ではないかとの意見があった。

○文化・学習部会

テーマの「男女共同参画社会の推進」では、市では男女共同参画都市宣言を行っているが、まだ浸透していない。まず、男女の役割分担の意識を変え、意識付けが必要である。女性の社会参加には環境づくりが必要である。男性側からも女性の参加を促すことや意思決定の場に女性が参画する機会をもっと増やしていくことも必要ではないかなどの意見があった。

自由テーマの、「コミュニティにおける参加と支えあい」については、地域では、以前から住んでいる人と引っ越してきた人と意識の差があり、地域のイベントなどに入りづらい。自治会や地域の消防団などはつながりが強いが、新しい人には、参加しにくいなどの現状もあるので、きっかけとして、日常的な挨拶などが重要になり、災害の際にも心強い。また、目的によるコミュニティの形成として、府中国際交流サロンのような施設の情報も発信していくべき等の意見があった。

「土地利用」では、市の特色として緑が多いので、けやき並木など憩いの場を増やしていく。農地が減少していることから、農地を減らさない取組が必要である。防災の面からしっかりとした都市計画や防災センターや防災地域・防災公園の拡充を進める。また、駅前再開発が進んでいるが、そこでの商業を営んでいる方の意見を取り入れたまちづくりが必要ではないかなどの意見があった。

○都市基盤・産業部会

前回の協議結果では、検討テーマを部会で話し合っ決めていたが、市民のアンケート結果を見ると、市民の関心が低いテーマであったりすることもあり、テーマを決める際は、市民アンケート結果をよく見てから話し合った方が良いのではないかとこの意見があった。

必須テーマの「個性的で魅力的な都市景観の創造」については、今ある府中の魅力的な、例えばけやき並木などを残すだけではなく、生かしていくようなまちづくりを進めていくべきとの結論になった。例えば、市民球場の手前にある桜並木のある道を並木のように整備をした方が良いのではないかと。また、「農地と住居の共存していくまちづくり」という意見があり、農地を残していくような仕組みをつくっていくと良いとの意見があった。

府中らしい外観をつくるとして、例えば商店街など古くなった建物を建て直す時に、京都などでは外観整備を促進する補助の仕組みがあり、このような取組を府中市でも積極的にいき、府中らしい外観をつくっていくと良いなどの意見があった。

なお、自由テーマの「地域の高度情報化の推進」については、他の部会での意見と重複するため説明は省略することとした。

○行財政運営部会

前回の協議結果のまとめ資料に対する追加意見は出されなかった。

テーマの「地方分権への対応」については、市がどのような視点でこれを考えているのかよく分からない。もっと積極的に市民の意見を吸い上げたうえで、どのように地方分権化に対して対応すべきかを検討すべきなどの意見があった。また、市が行っている業務、市が抱えている問題に対して、市民に情報を提供し、一緒に取り組むということを提示するべきとの意見もあった。また、現在、国では地域主権改革を進めているが、実際にはなかなか実行されていないことが多く、国の方針も不明確な部分があり、議論をしてもどのように対応すべきか分からない。市は他市の動きを見て政策や仕事を決定することが多いが、今後は他市よりも先陣を切って、リーダーシップを発揮して、仕事をすべきなどの意見があった。

自由テーマの「コミュニティにおける参加と支えあい」では、基本構想のまちづくりの基本理念では、市民が主体で、みんなにやさしく安心して快適に暮らすことができるよう、「人間性の尊重」を基本理念とすると記載されているが、このような文章では府中市がどうするかがよく分からないので、市民が主体的に動くことができないのではないかという意見があった。

市には自治会とコミュニティ協議会というものがあるが、なかなか入りづらい状況があり、閉鎖的な状況であり、これが大きな問題であると思われる。これを変えるために、市がどのように介入するべきかという意見があった。

外国人が年々増加していて、国際交流サロンというものがあるが、一部の企業に勤めている人が利用していることが多く、知らない市民が多い。また、文化センターの利用者が固定化してきており、市内の多くの年齢層の方々に広く利用されていない等の意見があった。特に自治会はたくさんあるが、学区など、微妙に連携していない部分があり、横の連携ができていないことが多い。PTAとも連携できていないことも多いので、市が積極的に介入すべきで、もっと積極的にコーディネーターとなり、コミュニティ活動に介入して横の連携を図っていくことが重要ではないかという意見があった。

(4) その他

①事務局より、次回以降のスケジュール（案）を資料8により、説明。

第3回 平成24年2月18日（土） 午前9時30分～

第4回 平成24年3月10日（土） 午前9時30分～

平成24年度日程（案）

第5回4月7日（土）、第6回4月14日（土）、第7回5月12日（土）

第8回5月26日（土）、第9回6月9日（土）、第10回6月23日（土）

会場はすべて、市役所3階第1～第3会議室

その後は、会長から市長へ報告書の提言を行っていただく予定

日程等については、異議なく了承を受けた。

②質疑内容

(委員) 前回の市民検討協議会で出された提言書の内容について、総合計画審議会では、どのように審議されているのか、内容について知ることはできるのか。

(事務局) 総合計画審議会での審議内容については、会議録として、市ホームページや市政情報公開室等で公開しており、会議内容は閲覧することができます。

(委員) 今回の市民検討協議会の開催結果については、いつごろ送付されるのか。要望として、なるべく早めに送付していただくようお願いしたい。

(事務局) 各部会の報告書の提出をなるべく早期にいただき、2月10日頃を目途に取りまとめていきたいと考えています。委員の皆さんのご要望に沿うよう努めてまいります。

次回の検討協議会の日程については、平成24年2月18日(土)午前9時30分に開催することとし、閉会した。

(以 上)

※配付資料

資料1 第2回市民検討協議会の検討内容

資料2 第1回市民検討協議会開催結果

資料3 第1回市民検討協議会部会別報告書

資料4 人口推計について

資料5 配付なし

資料6 府中市の特徴

資料7 施策指標一覧

資料8 市民検討協議会のスケジュール(予定)

資料9 府中市都市計画に関する基本的な方針(概要版)

別紙 府中市総合計画市民検討協議会委員名簿
(平成24年2月4日現在)

参 考 府中市総合計画課題別検討協議会提言書の写し(部会別)
(平成18年12月)